

15 年分のモバイル ICT の利用動向をまとめた「モバイル社会白書」を公開 ～モバイル社会研究所の定点調査でスマートフォン比率が 97%超え～

株式会社 NTT ドコモの社会科学系の研究所であるモバイル社会研究所は、2010 年から 2024 年まで 15 年間のモバイル ICT の使われ方などの調査結果をまとめた「モバイル社会白書」を 2024 年 11 月 12 日（火）からモバイル社会研究所のウェブサイト上で無償公開いたします。

「モバイル社会白書 2024 年版」 URL : <https://www.moba-ken.jp/whitepaper/wp24.html>

ダイジェスト版動画 URL : <https://www.youtube.com/watch?v=NZO6-IA0xPQ>

また書籍「データで読み解くモバイル利用トレンド 2024-2025 -モバイル社会白書-」をエヌ・ティ・ティ出版株式会社（NTT 出版）より発行します。書籍版は全国の書店・ネット書店でお求めいただけ、価格は書籍版 1,980 円（税込）、電子版は無料です。

モバイル社会白書は、モバイル ICT の 15 年間の利用動向だけでなく、子どもやシニアの利用実態や防災・減災、コロナ禍以降のニューノーマル時代の生活スマホ利用時の行動や意識、SNS 利用動向、健康意識など幅広い内容に関する豊富なデータを掲載しています。このほか、モバイルと AI、推し活、健康と ICT など現在を切り取る 5 本のコラムも掲載しています。

モバイル社会研究所は、通信業界の直接の利害を離れ自由で独立した立場から、モバイル ICT のもたらす光と影の両面を広く解明することを目的に 2004 年 4 月に設立しました。スマホ・ケータイの使われ方を量的に把握する調査を毎年実施するとともに、モバイル ICT の利用による生活者の行動・価値観の変化を解明する研究に取り組んでいます。調査と研究の成果は、モバイル社会研究所のホームページで公開をしています。



「データで読み解くモバイル利用トレンド 2024-2025 -モバイル社会白書-」概要

1. 主な内容

- ◆巻頭言 モバイル技術の進化と社会調査
- ◆2023～2024 年のモバイル ICT 社会トレンド総括
- ◆1 章：携帯電話の所有・利用状況
 - コラム 1：生活の中での運動：勤労者における健康と運動への ICT 利活用
- ◆2 章：モバイル・コミュニケーション
 - コラム 2： モバイルと AI
- ◆3 章：コンテンツとメディア
 - コラム 3：「推し」の存在はスマホ活用につながるのか？
- ◆4 章：ニューノーマル
 - コラム 4：新型コロナウイルスのパンデミックで始まった「ニューノーマル」とキャッシュレス決済の進化
- ◆5 章：安心・安全
- ◆6 章：防災・減災
- ◆7 章：子どもの ICT 利用
- ◆8 章：シニアの生活実態と ICT 利用
 - コラム 5：シニアの ICT の普及は格差を縮めるか、広げるか

2. 主な調査設計

調査方法 : ウェブ調査

調査時期 : 2024 年 1 月

調査対象 : 全国の 15～79 歳男女(6,440 サンプル)

標本抽出法 : 性年代・都道府県で割り付け

(その他、健康調査、スマホ利用者行動調査、ニューノーマル生活意識調査、SNS 調査に特化したウェブ調査を実施。また子どもやシニアに特化した訪問留置調査を実施。)

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先
株式会社 N T T ドコモ モバイル社会研究所 企画担当 メール : msri-inq-ml@nttdocomo.com